

設問

40分

[問い1]

今までのような質問ができるか。

- (1)冒頭で自分のやりたい事と事なかれとあきらめていたと思いましたが、横山さんにとってやりたい事というのは?
- (2)受験勉強が本当につかえたんですね。横山さん、受験勉強本当につかえたというのはどんな所ですか?
- (3)横山さんは今の社会学部が合っていると思われているんですね。合っているというのは?
- (4)数学と理科の科目とかは、勉強していて本当に楽しくなるとおっしゃいましたが、どんな所が楽しくなりましたか?
- (5)社会学部のメディア社会学科では、どのような事を学ばれているのでしょうか?
- (6)お友だちと一緒に行動したいという思いから、進路を決めた事について改めて、現状どのような様子を思われますか?

[問い2]

良かった点

事例Ⅰの CCt10 (相応しい・相応しくない)

理由: CLとのやりとりで、1つ1つゆくりと考えていた事ができ、ゆたかに話を伺うことと心がけた。特に前半は、CLの発言を1つ1つ丁寧に受容して、ゆたかにお話を伺いながら、問いかけができたと思う。

悪かった点

事例Ⅱの CCt11 (相応しい・相応しくない)

理由: 面談の途中で、CLが大きく首をかしげる部分があり、うまく質問できていないという焦りから、自分のための要約が入り、感情に感ずる発言に焦点を当てたため、特に後半は、CLが話したい事を伺えていなかった。

[問い3]

主訴

CLは友人と一緒に今の大学の社会学部に進学し、現在2年生だが、やりたい事と感じ、学部の変更を間違ったと悩んでいる。そこで伺っていると、CLは元々理数系の勉強の方が楽しいと感じていたが友人と一緒に大学に行きたいという理由で進路選択しており、現在社会学部で学んでいる中で、書いたり読んだりするのが苦手な事に改めて気づいた。と話を聞いて、友人の姿を見て、社会学部が自分には合っていない、進路選択に失敗したとの思いがあるが、お友だちと一緒に今とさと言いかつ同様に言い出せず、一人で抱え込んでいる事が現時点の主訴である。

[問い4]

この後どう進みますか?

この後は、社会学部は自分合っているかと思ひ、お友だちと一緒に今とさと言いかつして、一人で思ひと抱え事になっているCLが、今までのやりとりを引き継ぎ信頼関係を構築していく。そして、理数系の勉強のどんな所が楽しいと感じるか、社会学部のどんな所が合っているか、明確にしていく事で、自己理解を深めていく。特に、当時の進路選択を振り返りながら、今の自分の基準で大学を思いのこらえてみてもらう。お友だちや家族に今の気持ちを伝え、一人で抱えているつらさを解消するためにどうしたらいいか、一緒に考える。以上から、CLが今後、新しい学び、やりがいを、楽しくキャリアプランを描ける様、多くの現状から最良の意志決定ができる様を支援する。